
日 本 科 学 哲 学 会

第 42 回(2009 年)大会

期日：11 月 21 日(土)・22 日(日)

場所：高千穂大学

〒168-8508 東京都杉並区大宮 2 丁目 19-1
交通案内：山手線・新宿駅または渋谷駅から西永福駅(井の頭線)まで13分
(新宿駅からの場合は、明大前のりかえ)
中央線・吉祥寺駅から西永福駅(井の頭線)まで10分
西永福駅から大学まで徒歩7分

大会参加費：1,000円

プ ロ グ ラ ム

11月21日(土)

研 究 発 表

《A会場》(9:30~12:30) 司会：1-3 村上祐子(東北大学)、4-6 岡本賢吾(首都大学東京)

1. 稲岡大志(神戸大学) ユークリッド幾何学の形式化は数学の哲学に対していかなる含意を持つか
2. 大西琢朗(京都大学・日本学術振興会) 調和と安定-ダメットの証明論的意味論
3. 秋吉亮太(慶應義塾大学) 竹内の還元法と非可述性について
4. 矢田部俊介(産業技術総合研究所) ω -矛盾な真理理論について
5. 小山田圭一(東京工業大学)、大橋正則(東京工業大学) 決定論の問題と時制論理の意味論
6. 中山康雄(大阪大学) 規範の推論体系

《B会場》(9:30~12:30) 司会：1-3 一ノ瀬正樹(東京大学)、4-6 篠原成彦(信州大学)

1. 佐藤えり(名古屋大学) 「鏡像に関する視覚経験」についてのプラトン、デカルト、バークリの見解の再考—現代の視覚理論の論争に与える影響の観点から—
2. 馬場鉄兵(慶應義塾大学) バークリーにおける心と観念
3. 福田敦史(慶應義塾大学) 自我概念と知覚と想起
4. 宮原克典(東京大学・日本学術振興会) 知覚の行為性：エナクティブ主義と現象学
5. 小口峰樹(東京大学・日本学術振興会) 知覚の命題的構造—概念主義の経験的基盤の探究—
6. 大西勇喜謙(京都大学) 認識論的観点からの实在論論争

《C会場》(9:30~12:30) 司会：1-3 清塚邦彦(山形大学)、4-6 柏端達也(千葉大学)

1. 尾形まり花(千葉大学) バトナムの外在主義とデイヴィッドソンの外在主義
2. 水本正晴(北見工業大学) ゲティアー課題と信念撤回課題—実験哲学の試み
3. 荒磯敏文(慶應義塾大学・日本学術振興会) 不定記述による導入—会話の含みによる説明の試み—
4. 筒井晴香(東京大学・日本学術振興会) 慣習について問うとはいかなることか
5. 大谷弘(国士舘大学) 言語と規則
6. 羽地亮(神戸大学) ウィトゲンシュタインにおける志向性の分析—活動理論との比較を通して—

《D会場》(9:30~12:30) 司会：1-3 松本俊吉(東海大学)、4-6 金子洋之(専修大学)

1. 山田浩司(日本大学) カントにおいて因果性とはどのような概念か
2. 朴嵩哲(東京大学) マインドリーディングの理論の検討
3. 林禅之(東京大学) 分離脳と人格の同一性について
4. 伊藤孝 志向性と自由意志
5. 小池翔一(東京大学) 「予言破りの自由」再考
6. 鈴木秀憲(名古屋大学) 両立論と他者による操作の問題

理事会・評議員会・大会実行委員会(12:30~13:45)

総会〔石本賞授与式〕(13:50~14:20)

ワークショップ(14:30~16:45)

《A会場》

- I. 論理学教育：論理学のヘビーユーズとしての哲学者養成に向けて
オーガナイザ：村上祐子(東北大学)
提題者：飯田隆(慶應義塾大学)、岡本賢吾(首都大学東京)、竹内泉(産業技術総合研究所)

《B会場》

- II. ダーウィン生誕200年ワークショップ
オーガナイザ：横山輝雄(南山大学)
提題者：木島泰三(法政大学)、中尾央(京都大学)、矢島壮平(東京大学)

特別講演(16:50~17:50)

講演者：並木雅俊(高千穂大学教授)
講演題目：日本における物理学の受容
司会者：丹治信春

懇親会(18:00~20:00)

会費：一般5,000円 学生3,000円
会場：セントラルスクエア4Fカフェテリア

11月22日(日)

ワークショップ(9:30~11:45)

《A会場》

Ⅲ. 実践のロジックと規範

オーガナイザ: 竹内聖一(東京大学)

提題者: 鈴木 聡(駒澤大学)、竹内聖一(東京大学)、村上祐子(東北大学)

《B会場》

Ⅳ. プラグマティズムから生態心理学へ—意識と環境の实在論—

オーガナイザ: 河野哲也(立教大学)

提題者: 伊藤邦武(京都大学)、齋藤暢人(早稲田大学)、三嶋博之(早稲田大学)

理事会・編集委員会・大会実行委員会(11:45~12:45)

研究発表

《A会場》(13:00~15:00) 司会: 1-2 鬼界彰夫(筑波大学)、3-4 原 壘(東北大学)

1. Iva Georgieva(東京大学)

Virtual Space and Human Self-effects, problems and solutions

2. Pierre-Alain Braillard(京都大学)

On some ways out of the dilemma about emergence and downward causation

3. 井上 研(名古屋大学)

「道徳的判断の脳神経科学」と逆方向の推論

4. 吉田 敬(東京大学)

神経経済学の問題としての嗜癖的ギャンブル

《B会場》(13:00~15:00) 司会: 1-2 東 克明(東京海洋大学)、3-4 加地大介(埼玉大学)

1. 杉尾 一(慶應義塾大学)

現在主義と四次元主義にもとづく多世界解釈の考察

2. 佐金 武(京都大学・日本学術振興会)

時間の流れにのって: 現在主義の観点から

3. 星川 道人(東京大学)

行為の關係的变化と殺害時刻問題

4. 秋葉 剛史(慶應義塾大学・日本学術振興会)

現代形而上学における存在論的依存

《C会場》(13:00~15:00) 司会: 1-2 柴田正良(金沢大学)、3-4 野矢茂樹(東京大学)

1. 福田佑二(大阪大学)、中山康雄(大阪大学) 関心相対不変主義と帰属者文脈主義

2. 山口 尚(京都大学)

現象概念と物理主義

—知識論証に対するタイプB物理主義の応答の不十分さ

3. 太田 紘史(京都大学・日本学術振興会) デカルト的唯物論について

4. 羽地 亮(神戸大学)

随伴現象説の擁護

《D会場》(13:00~14:30) 司会: 戸田山和久(名古屋大学)

1. 佐々木 崇(京都大学)

科学と宗教に関するジェイムズの議論

2. 木原 英逸(国士舘大学)

科学技術コミュニケーション: STS(科学技術論)の新自由主義的変容

3. Paul W. L. Lai(北海道大学)、蔵田伸雄(北海道大学)、松王政浩(北海道大学)、山田友幸(北海道大学)

若手科学者教育における哲学者の役割について

シンポジウム(15:15-17:45)

「知と科学知: 科学コミュニケーションの文脈から」

司会: 小林傳司(大阪大学)

提題者: 池内 了(総合研究大学院大学)、伊勢田哲治(京都大学)、小林傳司(大阪大学)

『科学哲学』バックナンバー

4 (1971年)	21 〈私〉の同一性	34-2 進化論から見た心と社会
5 (1972年)	22 科学と反—实在論	35-1 (2002年)
6 (1973年)	23 科学哲学の未来を問う	35-2 クワインの哲学—回顧と展望
7 記号・情報・論理	24 異文化理解の基礎	36-1 (2003年)
8 行為の理論	27 量子力学と物理的实在	36-2 ラッセルのパラドックス・100年
9 様相論理学	28 カオスをめぐって	37-1 (2004年)
10 心身問題と道徳	29 特集1 デュエムの科学哲学の現代的意識	37-2 時間の实在性
11 解釈とモデル	特集2 サイバネティクス	38-1 (2005年)
12 言語と非言語	30 近代における科学と哲学	38-2 フレーゲの現代性
13 社会科学と哲学の間	31-1 (1998年)	39-1 (2006年)
14 論理とは何か	31-2 生物学的説明	39-2 相対性理論100年
15 科学哲学の展望	32-1 (1999年)	40-1 (2007年)
17 合理性とは何か	32-2 医療の哲学に向けて	40-2 数学の論理と哲学
18 志向性について	33-1 (2000年)	41-1 (2008年)
19 言語理解	33-2 心・生命・コンピュータ	41-2 非合理性とは何か
20 意識・機械・自然	34-1 (2001年)	42-1 (2009年)

購入を希望される方は、事務局宛ご連絡ください。(1~3号、16号、25号、26号は在庫切れです。)

●入会を希望される方は日本科学哲学会事務局(〒156-8550 日本大学文理学部哲学研究室内)
FAX: 03-5317-9217、e-mail: philsci@chs.nihon-u.ac.jp)へご連絡ください。